JALは解雇争議を解決せよ！

JAL被解雇者労働組合（JAL争議団）

JALと旧社保庁の争議全面解決を

争議解決まであきらめない

国鉄四国トレインズと「翼をください」を歌い、ＪＡＬと旧社保庁の争議への支援を呼びかける参加者（10月27日、松山市）

「あの空へ帰ろう きっと帰ろう♪」――。「国鉄四国トレインズのうたごえとともに、「ＪＡＬ不当解雇とたたかう愛媛争議団を支える会」の重見幸春事務局長の「ＪＡＬと旧社保庁の二つの争議の全面解決を」という力強い訴えが10月27日夕方、松山市の市駅前で響きました。トレインズの田口俊郎さんは「私たちは、愛媛争議団に寄り添いながら、最後まで、勝利に向かってあきらめずにがんばります」と決意を込めて話します。

ＪＡＬ被解雇者労働組合（ＪＨＵ）の林惠美さんと大池ひとみさん、「全厚生不当解雇撤回四国闘争団」の児島文彦団長ら14人が宣伝し、同地で宣伝していた無所属・市民派の武井多佳子県議らがチラシを配布するなどして応援しました。

重見事務局長は「ＪＡＬ争議団は、平和や空の安全を求めて、労働組合の中で先頭に立って闘ってきた労働者です。世論を広げてＪＡＬの不当な態度を包囲し、争議解決を勝ち取りたい」と力を込めました。

林さんは「ＪＡＬの不当解雇に対して、納得がいくまで仲間とともに運動を続けます。みなさまのご理解とご支援をお願いします」と訴えました。

大池さんは「おかしいこと、理不尽なことをのみ込んで我慢するのではなく、みんなで一緒になって声を上げていきましょう。きっと何かが変わると思います。私たちは、争議が解決するまで粘り強く、絶対にあきらめないでがんばります。これからもみんなで世の中をよくしていきましょう」と呼びかけました。